

## 入試情報

※平成28年度の実施内容が公開されていないため、平成27年度の実施内容より抜粋しております。

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
<p>■学力検査: 3/10</p> <p>■面接・適正検査: 3/10-11</p>	2/19-25	3/17	<p>3年生の9教科評定合計</p> <p>5段階評価×9教科=45点満点</p> <p>※詳細については、教育委員会配布の実施要綱を確認してください。</p>

教育のプロ  
トライさん



## 傾向

- ・昨年と比較し、受験制度に大きな変更点は見られない。推薦試験は普通科以外の学科で実施される。
- ・一般試験は、内申点と学力検査(100点満点×5教科=500点満点)の合計点で合否を判断する。
- ・合計点に占める内申点と学力検査との点数比率は学校ごとに指定されているので確認しておくこと。
- ・注意すべき点は、少子化に伴い計画的に募集人員の削減が進んでいること。

※平成28年度入試では、山形中央高校(普通科)、酒田光陵高校(普通科)、米沢工業高校(工業)で募集定員の削減が行われる。上記3校の受験者は注意。

## 科目別対策

### 英 語

大問5問で構成。リスニング、文法適語選択・対話文の空欄補充、対話文読解、長文読解、英作文で構成されている。対話文は英文も短く易しいので確実に得点しよう。長文読解では英文が長く、選択肢も英語で表記されているため、時間内に解答するには速読力が必要不可欠。英作文は基本的な例文を覚え、一部を書き換えて作文を書く練習をすると良い。書いた英文は、必ず誰かにチェックしてもらおう。

### 数 学

大問4問で構成。大問1は計算問題が多いので、ケアレスミスに注意して確実に得点したい。制限時間を短めに設定した過去問演習がオススメ。大問2では方程式の文章題、関数のグラフ問題が頻出。大問3は関数の利用、大問4は図形の合同・相似から出題される。出題傾向が一定なので、大問ごとに対策をすすめること。過去問を利用して、解法パターンをマスターすると良い。

### 国 語

大問5問で構成。記述問題が多いため、時間配分がポイントとなる。現代文以外の問題を早く解き、現代文に多くの時間を割きたい。200字程度の作文の出題形式は様々。記述問題や作文に対応するために、日頃から書く練習をして表現力を磨いておこう。古典では歴史的仮名遣い、古語や文法などの基本を押さえておくこと。また、時代背景や考え方に触れておくことと文章を読解しやすい。

### 理 科

大問8問で構成。各分野の問題が万遍なく出題される。実験や観察の資料をみて、グラフや図を書く問題、考察を書く問題が頻出されている。用語や実験結果を覚えるだけでは対応できない問題が多い。その過程や根拠を自分の言葉で説明できるようにしよう。計算問題は公式を覚え、過去問を活用して演習を重ねれば、確実に解ける。単位や桁数などのケアレスミスには注意したい。

### 社 会

大問6問で構成。地理・歴史・公民が大問2問ずつ出題され、各分野から偏りなく出題される。グラフを読み解く問題、時代背景から考察を書く問題が頻出。年号や用語を答えるだけでなく、知識を活用して表現する力が求められる。まずは正確な知識を蓄え、その後、記述問題を繰り返し練習しよう。公民では身近な時事問題が題材とされる。日頃から、ニュースや新聞を意識して取り組んでおきたい。